

【科目名】形成外科学		【担当教員】佐藤 舜也
【授業区分】専門分野 (発声発語・嚥下障害学)	【授業コード】 5-30-1135-0-1	(メールアドレス)
【開講時期】2年次 前期	【選択必修】必修	(オフィスアワー)
【単位数】1単位	【コマ数】8コマ	授業開講日、非常勤控室にて対応
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 特になし (受講のルールに関わる情報・予備知識) 特になし		
【講義概要】 (目的) 言語障害を発生する顔面の外傷、疾病を中心に創傷の治癒という問題を掘り下げて考えさせる。創傷の治癒過程を深く考えさせる。皮膚形成術とはどういうことか考えさせる。植皮とはどういうことか知らしめる。ケロイドを理解させる。熱傷について十分理解させる。顔面神経麻痺を十分に理解させる。口唇裂と口蓋裂と言語障害の関係を理解させる。 (方法) プリントを使用し、体系的に学修できるように進める。特に言語障害が伴う疾病や外傷を中心に進めていく。		
【一般教育目標(GIO)】 ・言語障害を発生する顔面の外傷、疾病を中心に創傷の治癒という問題を掘り下げて考えさせる。		
【行動目標(SBO)】 1) 創傷の治癒過程を深く考えさせる。 2) 皮膚の形成術とはどういうことか考えさせる。 3) 植皮とはどういうことかを知らしめる。 4) ケロイドを理解させる。 5) 熱傷について十分理解させる。 6) 顔面神経麻痺を十分理解させる。 7) 口唇裂と口蓋裂と言語障害の関係を理解させる。		
【教科書・リザーブドブック】 印刷物配布		
【参考書】 萩野洋一・「形成外科学入門第2版」南山堂、1987年 ¥8,610 平林慎一・鈴木茂彦「標準形成外科学」医学書院、2011年 ¥6,090		
【評価に関わる情報】		

平成 26～28 年度入学者用

(評価の基準・方法)									
成績評価基準は本学学則規定の GPA 制度に従う。									
本講義の記述式試験を実施する。試験 80%、授業態度 20%の割合で総合的に評価を行う。									
【達成度評価】		試験	小テ スト	レポート	成 果 発表	実技	ポートフォ リオ	その他	合計
総合評価割合		80	0	0	0	0	0	20	100 点
評 価 指 標	取り込む力・知識	80	0	0	0	0	0	0	80
	思考・推論・創造の力	0	0	0	0	0	0	0	0
	コラボレーションとリーダーシップ	0	0	0	0	0	0	0	0
	発表力	0	0	0	0	0	0	0	0
	学修に取り組む姿勢	0	0	0	0	0	0	20	0
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の運営 方法		学修課題(予習・復習)		時 間 (分)			
1	創傷治癒の病態生理と障害因子	講義							
2	皮膚の形成術	講義							
3	植皮と皮弁	講義							
4	ケロイドと肥厚性瘢痕	講義							
5	熱傷と放射線皮膚障害	講義							
6	顔面神経麻痺	講義							
7	口唇裂と口蓋裂	講義							
8	まとめ	講義							

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。